

平成29年度 第1回 景気動向調査報告書

平成29年11月30日

1. 調査目的

本調査を毎年10月及び4月の年2回に亘り実施することで同地区内における経済動向等に関する情報分析を行い、効果的な経営支援の実施並びに事業活動の方向性を検討する材料となるよう情報提供することを目的とする。

2. 調査の時期

第1回 平成29年10月実施 11月公表（調査対象期間：平成29年4月～9月）

第2回 平成30年4月実施 5月公表（調査対象期間：平成29年10月～平成30年3月）

3. 調査対象企業及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
全業種		40	40	100.0
卸売・小売業		19	19	100.0
サービス業 (不動産業、飲食店 宿泊業、その他)		13	13	100.0
製造業		2	2	100.0
建設業		6	6	100.0

4. 調査区分

商業関連 ①卸売・小売業 ②サービス業（不動産業・飲食店・宿泊業・その他）

工業関連 ①建設業 ②製造業

5. 調査事項


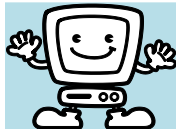

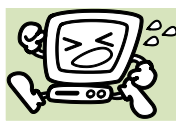

商業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③客数 ④客単価 ⑤経費

⑥資金繰り ⑦従業員数 ⑧金融機関の融資状況 ⑨今後の見通し（売上）

工業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③引き合い ④資金繰り ⑤従業員数

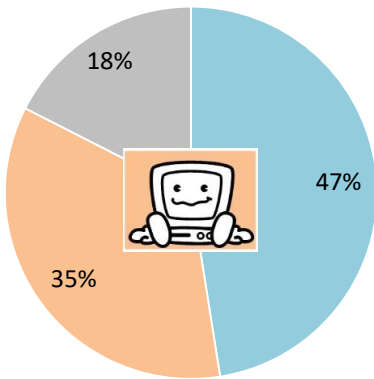
⑥在庫数量 ⑦受注・製品単価 ⑧設備投資 ⑨今後の見通し（売上）

6. 各調査項目の判断目安

特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
				
増加・好転 目安 75%以上～	増加・好転 目安 50%以上～	増加・好転 50%未満 減少・悪化	減少・悪化 目安 50%以上～	減少・悪化 目安 75%以上～

調査結果【商業関連】

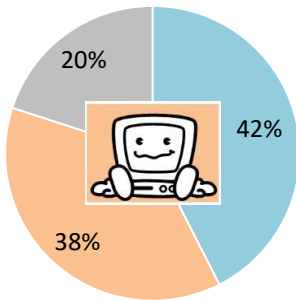
【今後の見通し（売上）】



■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

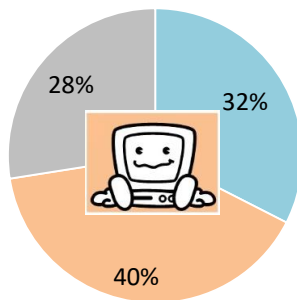
市内需要については個人消費が好調の上、人口増加と観光関連産業が好調を維持しており、今後の見通しについてはこのまま好調を維持若しくは好転することが見込まれる。雇用面も改善が進む一方、慢性的な人材不足が続いており、最低賃金の上昇により、さらなる生産性の向上等経営力の強化が求められる。現在直面している経営上の課題については業種別で多少のバラつきはあるが、「従業員確保難」「人件費等増加」「売上減少」「駐車場確保難」を主に上げている。今後、県内経営者の平均年齢60.38歳（2016年 東京商工リサーチ調べ）を加味しても、「後継者不在」を加えた『人材不足=人材確保』が今後の経営上の課題として続きそうである。

【売上高】



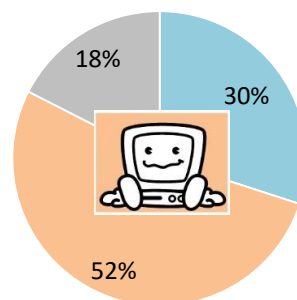
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



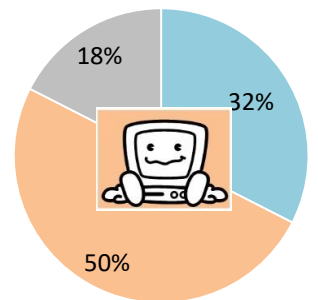
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【客数】



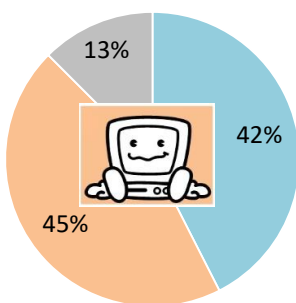
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【客単価】



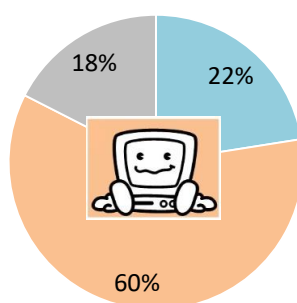
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【経費】



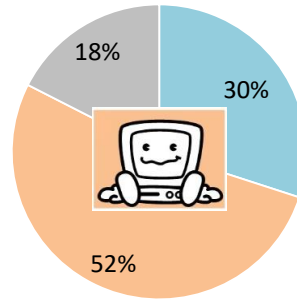
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



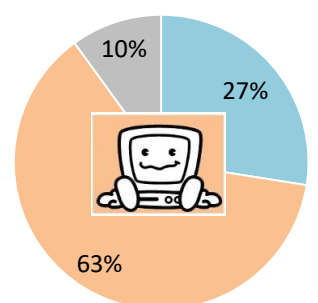
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【従業員数】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【融資状況】

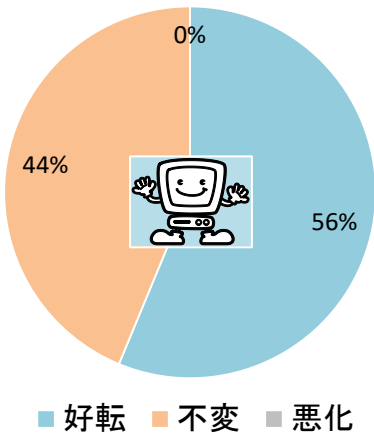


■ 容易 ■ 不変 ■ 困難

<p>特に好調</p> <p>増加・好転 目安 75%以上～</p>	<p>好調</p> <p>増加・好転 目安 50%以上～</p>	<p>まあまあ</p> <p>増加・好転 50%未満 減少・悪化</p>	<p>不振</p> <p>減少・悪化 目安 50%以上～</p>	<p>極めて不振</p> <p>減少・悪化 目安 75%以上～</p>
--	--------------------------------------	--	--------------------------------------	---

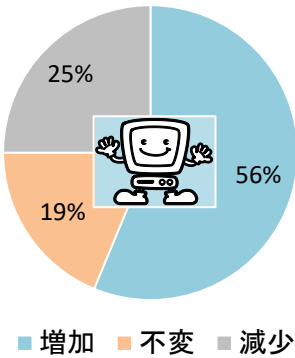
調査結果【工業関連】

【今後の見通し（売上）】

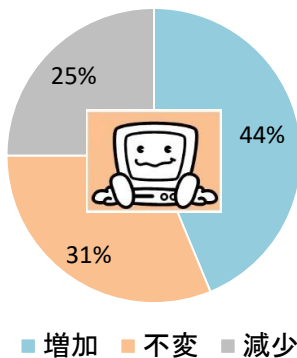


市内需要については住宅建設では持ち家が低下しているが、貸し家・分譲等が前年度を上回っていることから、個人消費が好調の上、県内全体で観光関連の好調の波及効果により建設関連も概ね好調に推移しており、今後の見通しについては明るい。一方、現在直面している経営上の課題については、「技術者の確保」「従業員確保難」「人件費増加」等を上げており、さらに「原油・原材料高」による経費増加も経営を圧迫する要因となっている。特に技術者や若い人材等の「人材確保難＝人材不足」は深刻化しており、引き合いはあるが受注を回避するケースも多発している。

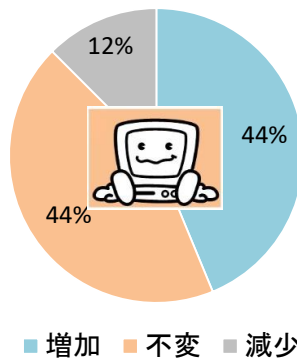
【売上高】



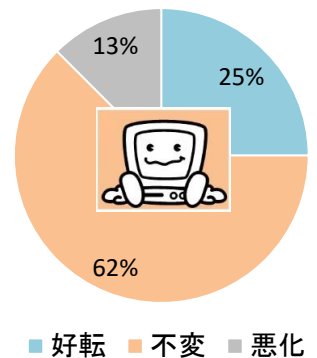
【採算（粗利）】



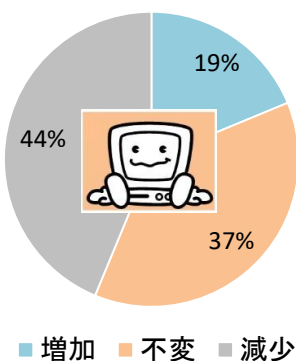
【引き合い】



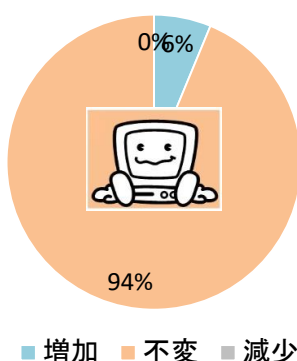
【資金繰り】



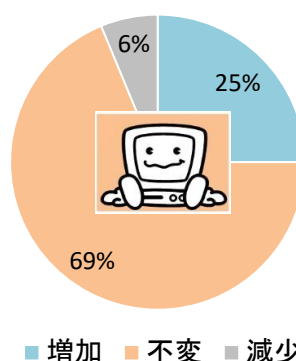
【従業員数】



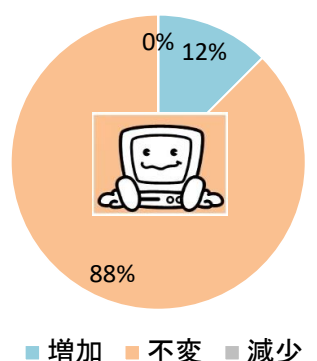
【在庫数（製品）】



【受注・製品単価】



【設備投資】



<p>特に好調</p> <p>増加・好転 目安 75%以上～</p>	<p>好調</p> <p>増加・好転 目安 50%以上～</p>	<p>まあまあ</p> <p>増加・好転 50%未満 減少・悪化</p>	<p>不振</p> <p>減少・悪化 目安 50%以上～</p>	<p>極めて不振</p> <p>減少・悪化 目安 75%以上～</p>
--	--------------------------------------	--	--------------------------------------	---

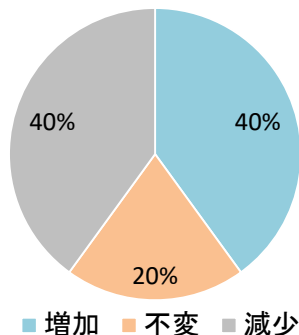
1. 主要3項目（売上高・採算・資金繰り）から見た業種別景気動向

【小売業】

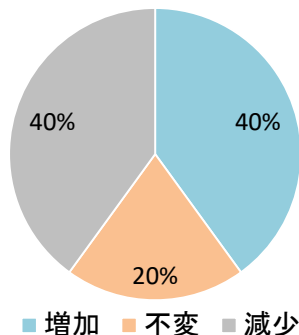
主な今期直面している経営上の問題

利益率低下（23.1%）、従業員確保（15.4%）、売上減少（15.4%）、駐車場確保難（7.7%）、店舗老朽化（7.7%）、仕入れ方法・在庫過多（7.7%）

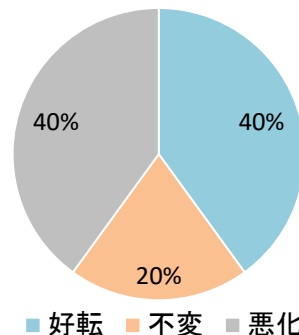
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

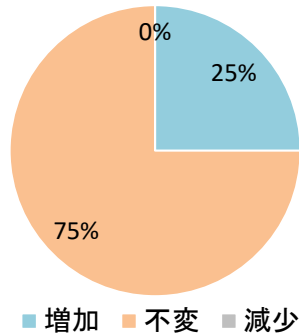


【卸売業】

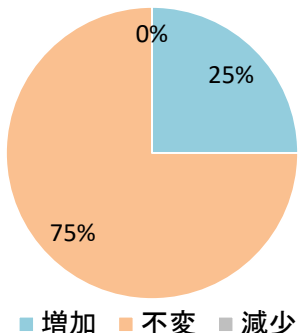
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（25.0%）、利益率低下（25.0%）、店舗老朽化（12.5%）、仕入価格上昇（12.5%）、採算悪化（12.5%）、人件費増加（12.5%）

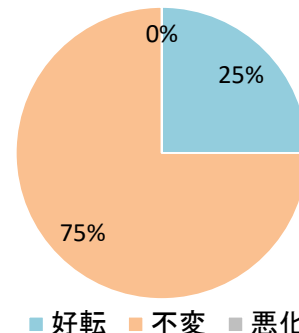
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

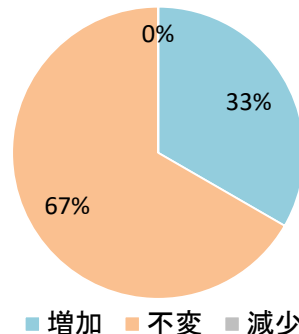


【不動産業】

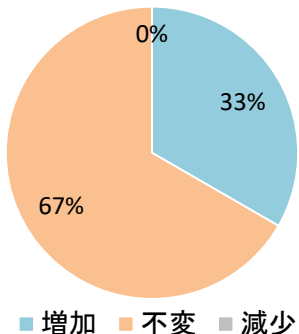
主な今期直面している経営上の問題

消費税引き上げ（25.0%）、店舗老朽化（25.0%）、人件費増加（25.0%）、大型店との競合激化（25.0%）

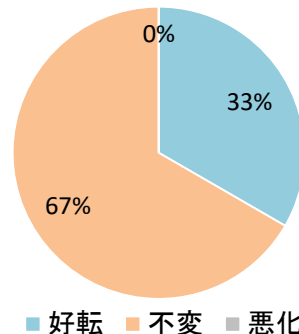
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

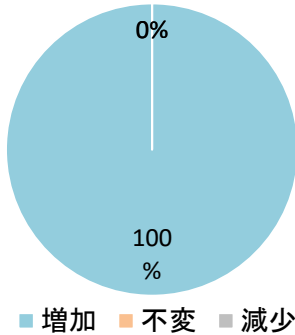


【飲食店】

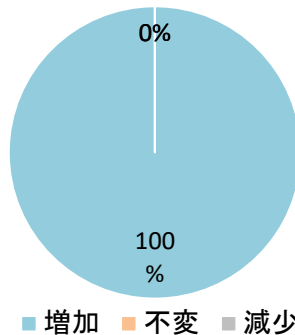
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（33.3%）、従業員確保（33.3%）、人件費増加（33.3%）

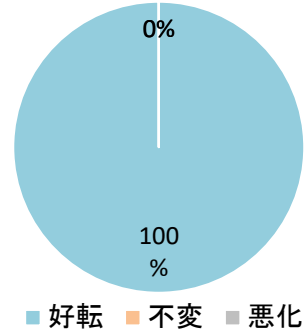
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

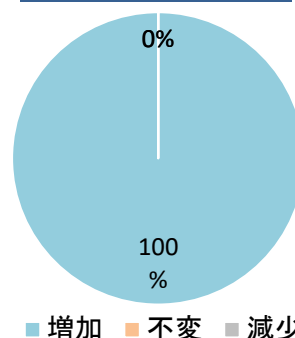


【宿泊業】

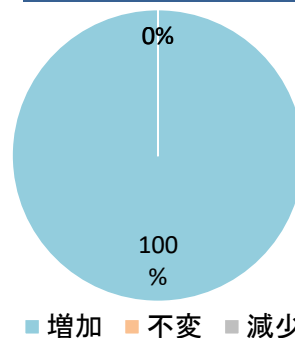
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（33.3%）、諸経費増加（33.3%）、人件費増加（33.3%）

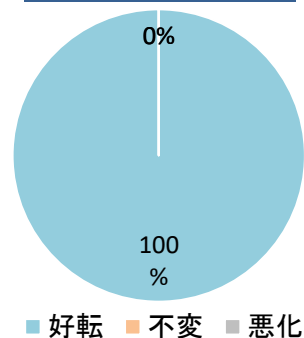
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

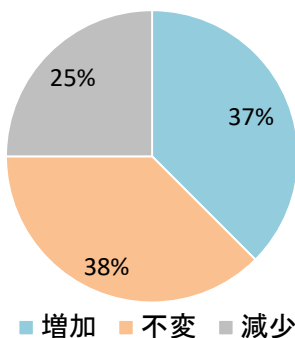


【サービス業】

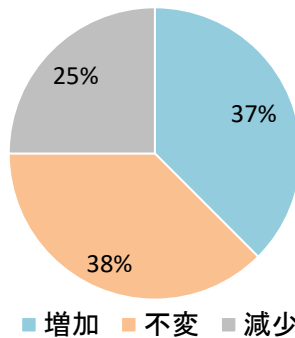
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（23.1%）、駐車場確保難（15.4%）、店舗老朽化（15.4%）、金利負担増加（7.7%）、仕入価格上昇（7.7%）、後継者問題（7.7%）等

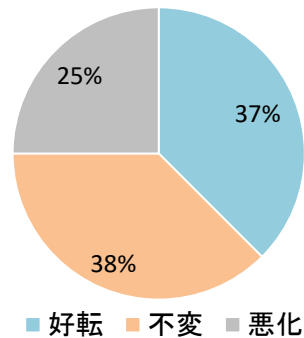
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

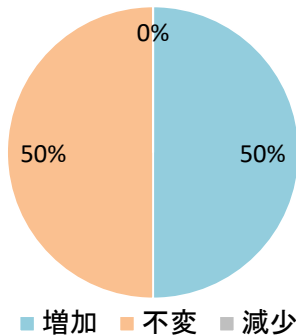


【その他】

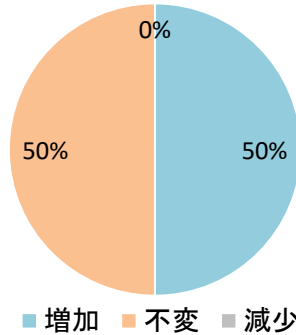
主な今期直面している経営上の問題

利益率低下（33.3%）、従業員確保（22.2%）、売上減少（22.2%）、採算悪化（11.1%）、諸経費増加（11.1%）

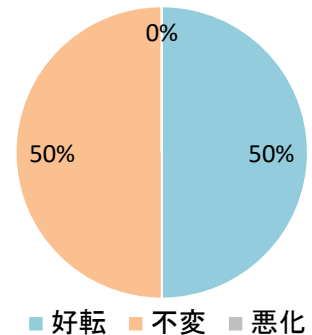
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

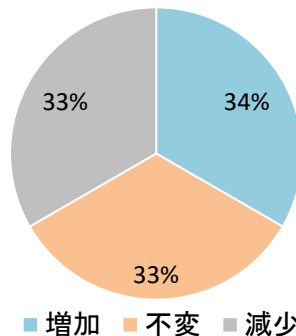


【製造業】

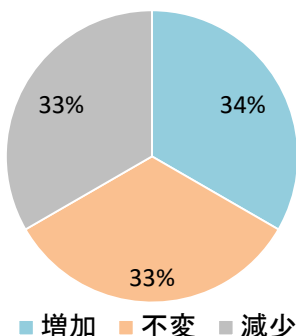
主な今期直面している経営上の問題

原油・原材料高（25.0%）、従業員確保難（25.0%）、諸経費増加（25.0%）、設備不足・老朽化（12.5%）、技術者不足（12.5%）

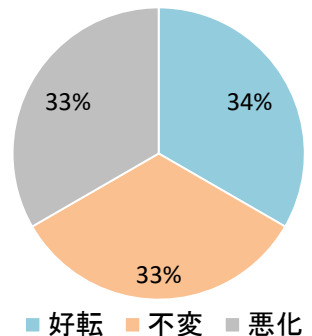
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

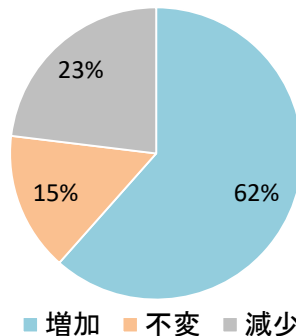


【建設業】

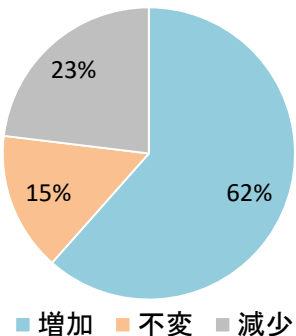
主な今期直面している経営上の問題

技術者不足（31.3%）、従業員確保難（24.0%）、人件費増加（16.0%）、原油・原材料高（8.0%）、諸経費増加（8.0%）、売上高の減少・停滞（8.0%）等

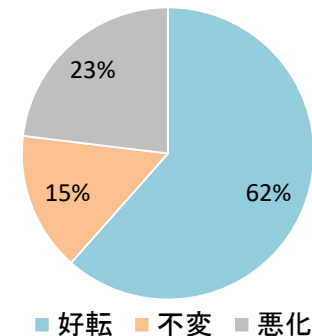
【売上高】



【採算（粗利）】

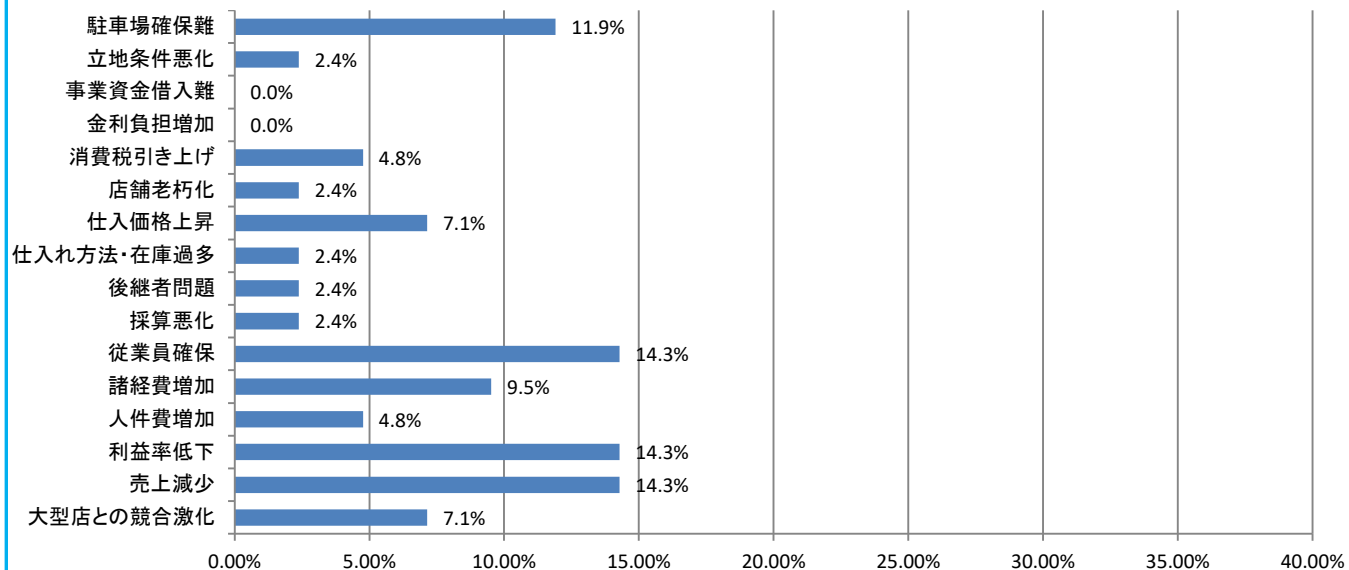


【資金繰り】

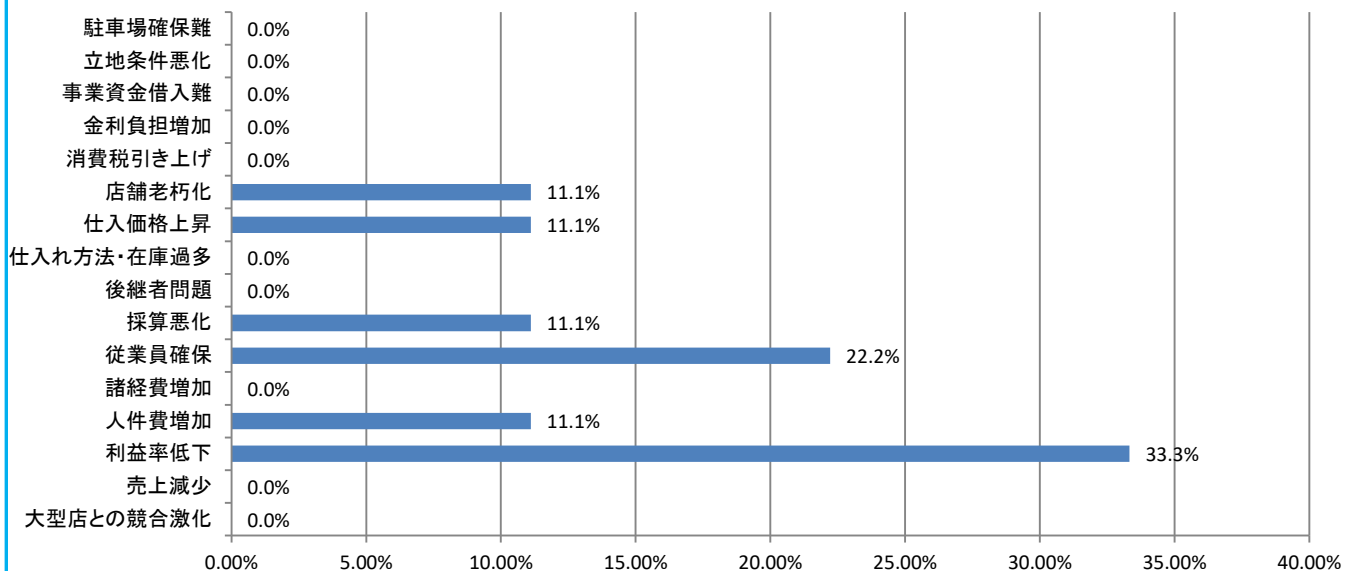


2. 経営上の問題点について

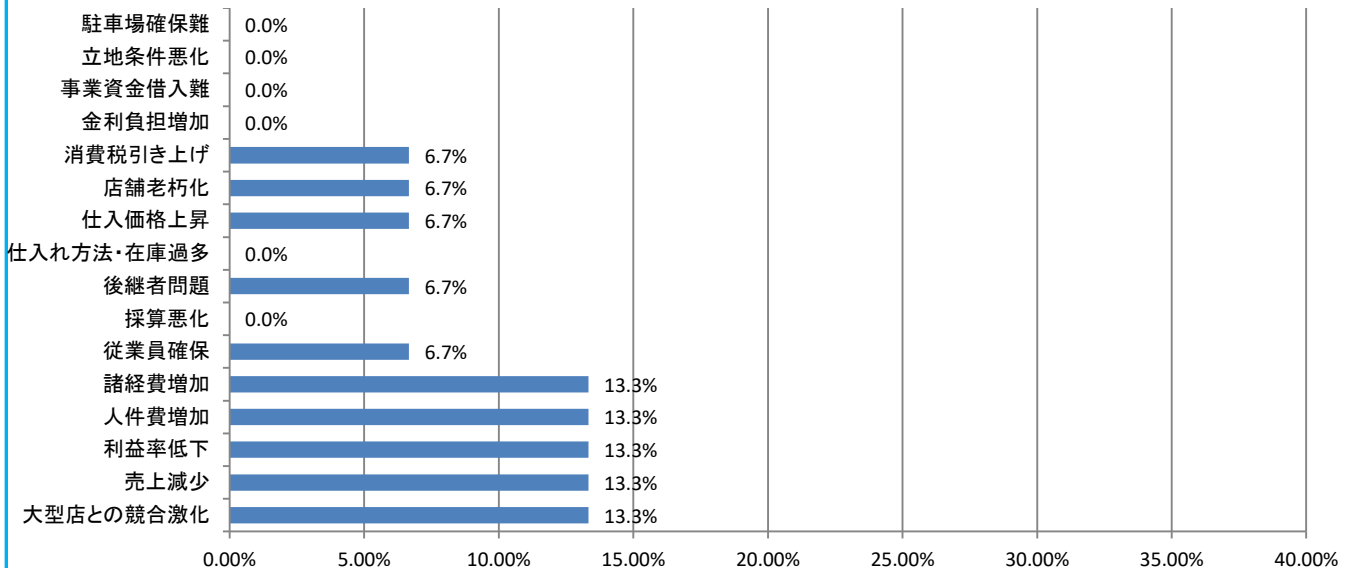
【小売業】



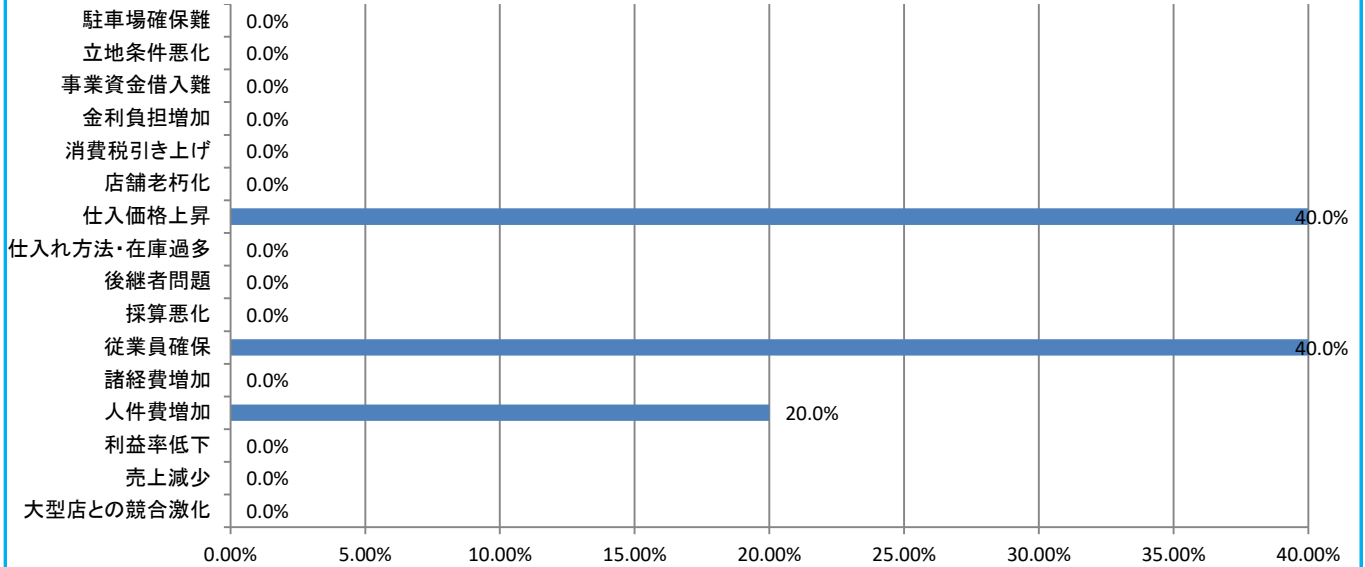
【卸売業】



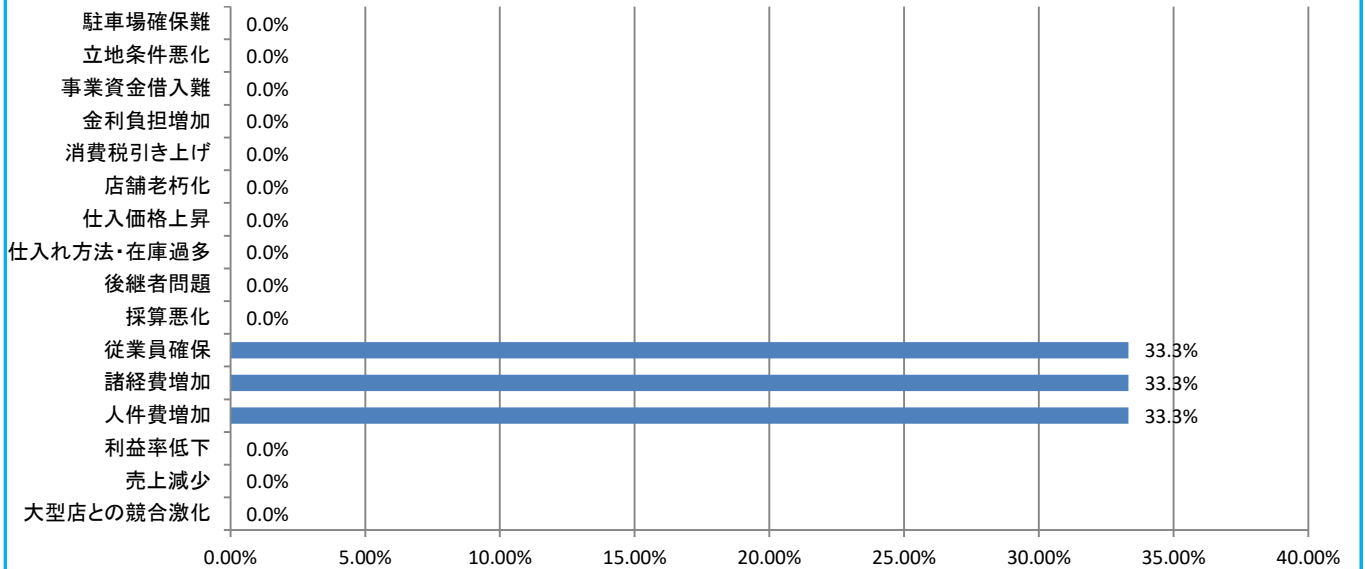
【不動産業】



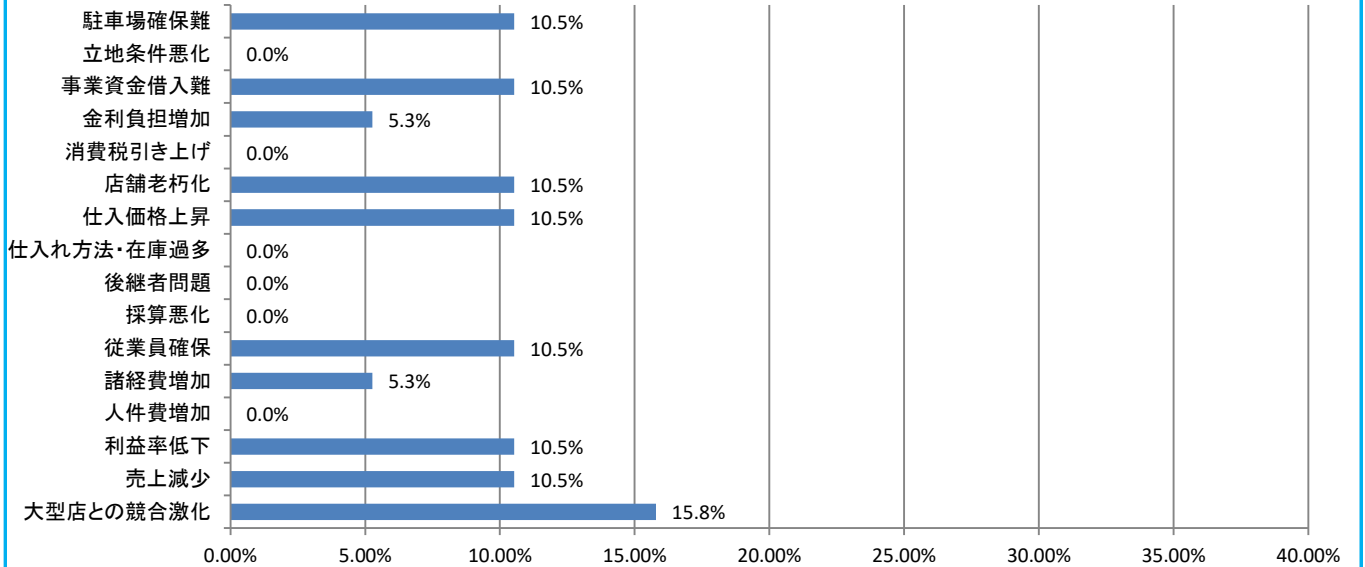
【飲食店】



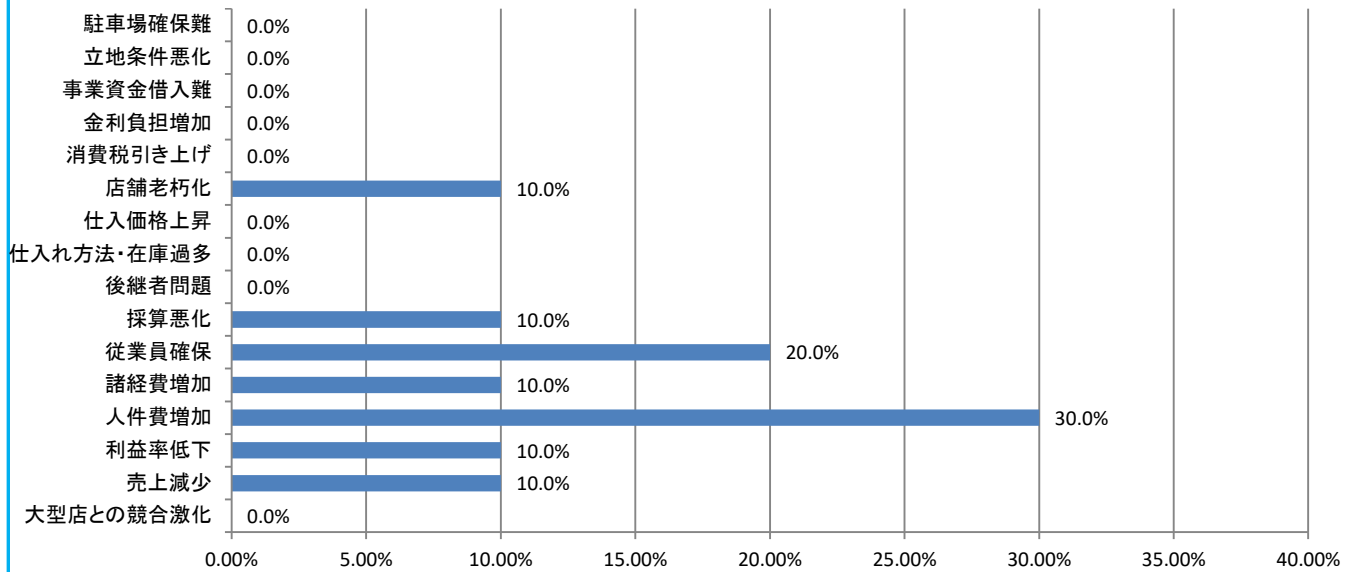
【宿泊業】



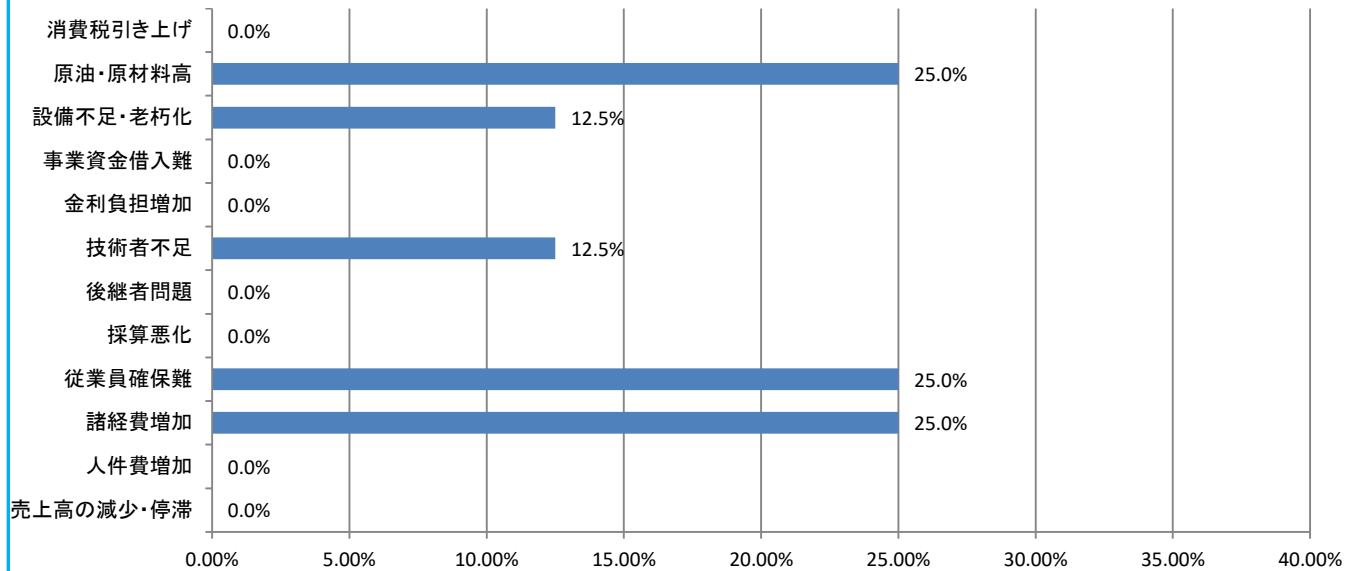
【サービス業】



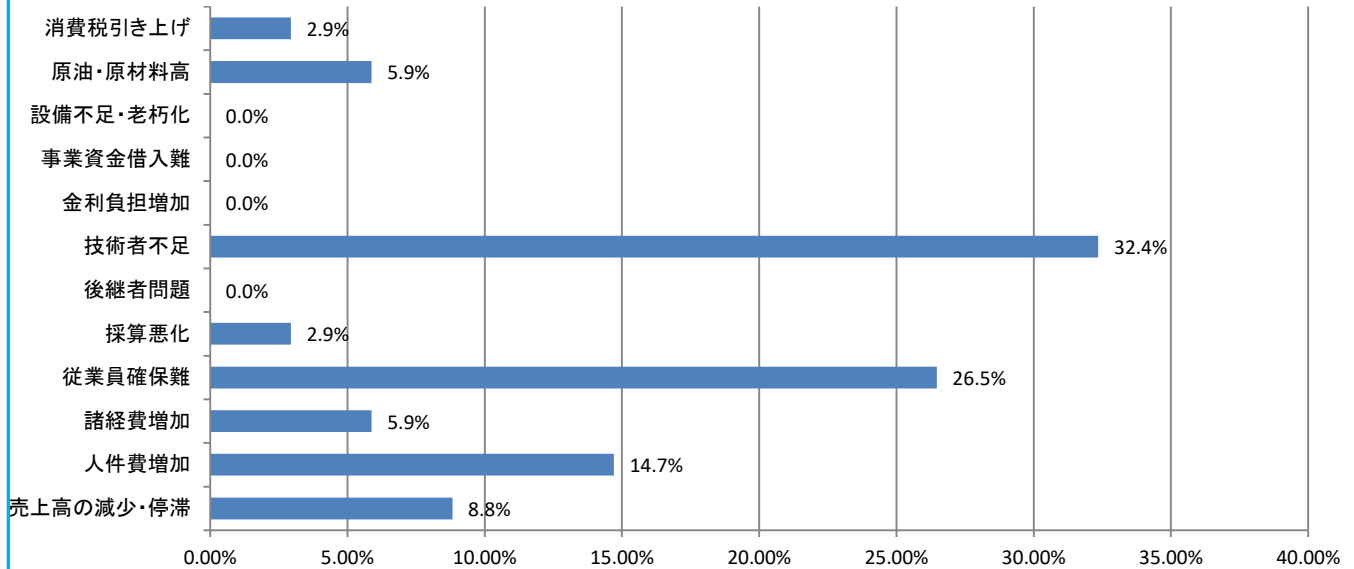
【その他】



【製造業】

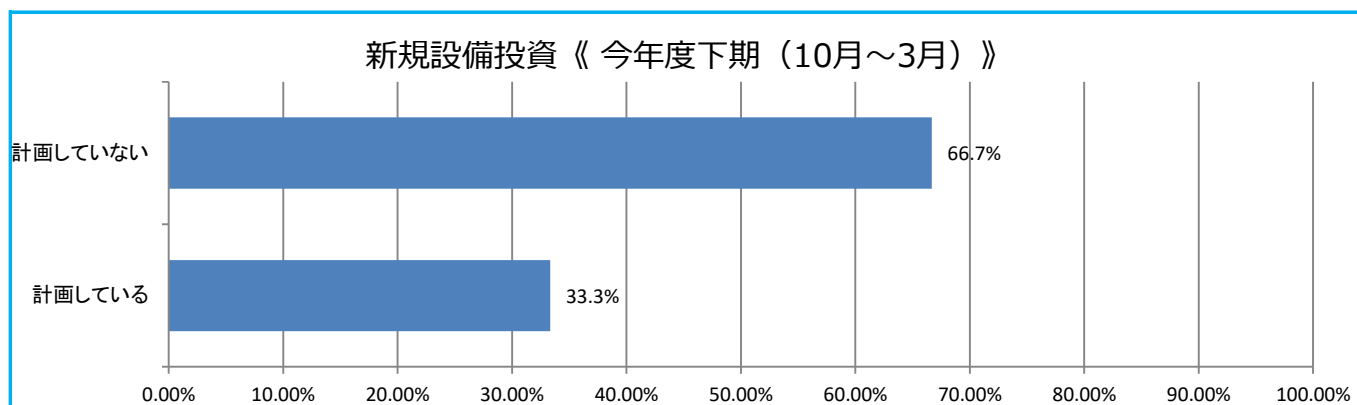
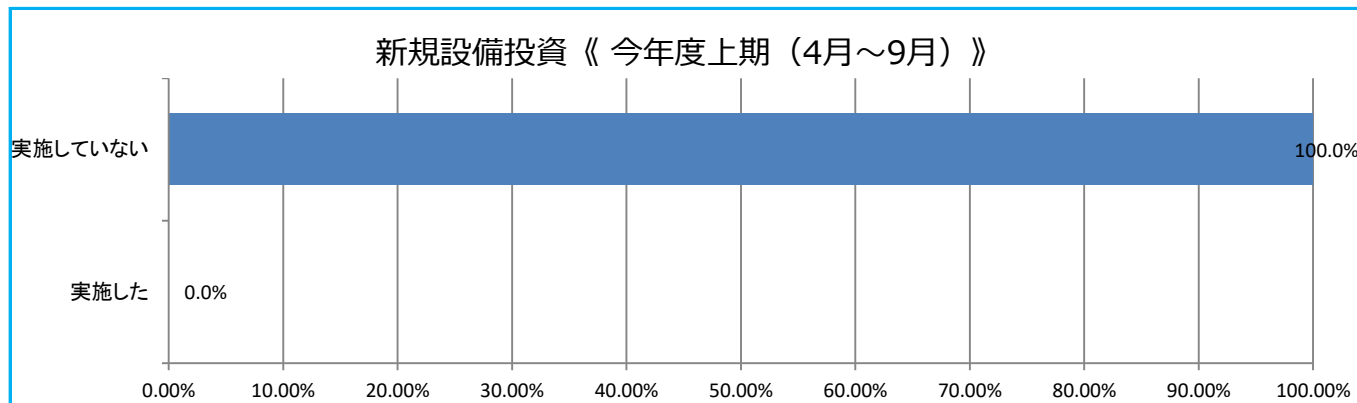


【建設業】



3. 新規設備投資状況

【製造業】



【建設業】

